

4 Apr.							5 May							6 Jun.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30					

「新収蔵品展」  
4月9日【水】～6月15日【日】

「繡欄たる花鳥画」  
～4月6日【日】

7 Jul.							8 Aug.							9 Sep.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1	2	1	2	3	4	5	6	
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
							31													

「本館竣工40周年記念 たてもの探訪」  
7月1日【火】～8月17日【日】

「絵から読む物語」  
8月19日【火】～9月28日【日】

10 Oct.							11 Nov.							12 Dec.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3						1	2	1	2	3	4	5	6	
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
							30													

「金曜ロードショーとジブリ展」会期中は、収蔵品展は開催いたしません、ロダン館はご覧いただけます。

1 Jan.							2 Feb.							3 Mar.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							1	2	3	4	5	6	7	
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31								29	30	31				

「2000年代の絵画～静岡ゆかりの作家による」  
2026年1月20日【火】～4月19日【日】



ガラスの天井から光がふりそそぐロダン館。近代フランスの彫刻家オーギュスト・ロダンの作品32点のほか、ロダン以前・以後の代表的な彫刻家による作品を展示しています。本館とロダン館をつなぐブリッジギャラリーとともに、西洋の近代彫刻51点を常時鑑賞できます。

# Exhibition Schedule 2025.4-2026.3

**開館時間** 10:00～17:30(展示室への入室は17:00まで)

**休館日** 毎週月曜日  
(月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌日休館。但し、展覧会によっては、開館する場合があります。詳細は中面カレンダーをご覧ください。)  
年末年始、その他館内整備等のため休館日

**観覧料**

区分	一般		70歳以上	大学生以下
	個人	団体		
収蔵品展	300円	200円	無料	無料
企画展	展覧会ごとに異なります。詳しくは、ウェブサイト、ポスター、チラシをご確認ください。			

団体は有料観覧者20名以上。企画展ご入場の方は、収蔵品展・ロダン館も併せてご覧いただけます。  
身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその付添者1名は、企画展・収蔵品展ともに無料でご覧いただけます。  
※事前予約制を実施する場合は、ウェブサイト等でお知らせします。

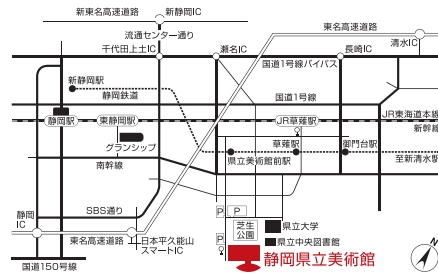
**実技室イベント** ————— ミュージアムショップ Tel: 054-262-1960 —————  
さまざまな体験プログラムを実施しています。スケジュールはウェブサイトまたはパンフレット「実技室プログラム」をご覧ください。 展覧会図録、美術図書、ミュージアム・グッズ等をお求めになれます。

**車椅子・ベビーカー** ————— レストラン —————  
インフォメーションで無料貸出いたします。 喫茶、お食事が楽しめます。美術鑑賞の合間にお立ち寄りください。

**デジタルアーカイブ** ————— 友の会 Tel: 054-264-0897 —————  
https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/archive/ 常時入会受付中。詳しくは事務局にお問い合わせください。  
館蔵品検索システムその他、池大雅《蘭亭曲水・龍山勝会図屏風》の高精細画像やオーギュスト・ロダン《地獄の門》の3D画像等をご覧ください。

**交通案内**

JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分  
JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分または北口から静鉄バスで約30分  
JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分または静鉄バスで約20分  
静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分または静鉄バスで約3分  
東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分  
周辺に大型バスを含めて約400台を収容できる無料駐車場があります。



**お問い合わせ**

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 <https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>  
企画総務課 Tel. 054-263-5755 Fax. 054-263-5767  
学芸課 Tel. 054-263-5857 Fax. 054-263-5742



静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

## ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト

4月19日[土]–6月15日[日]

人々の心を魅了し続ける古代エジプト文明。本展では、ニューヨークのブルックリン博物館から、選りすぐりの作品約150点をご覧



いただきます。石碑、宝飾品やパピルス、棺、そして人間や猫のミイラなど、米国内最大級と言われるその精華をお楽しみください。古代エジプト人の暮らしや信仰は？ピラミッドがなぜ、どのように建設されたのか？ミイラはどのように作られたのか？知っているようで知らなかった古代エジプト文明の謎を、最新技術を用いた研究成果や、世界最古の葬送文書と呼ばれる「ピラミッド・テキスト」の再現音声と共に探っていきましょう。

左:《神官ホル(ホルス)のカルトナージュとミイラ》(部分)  
右:《ネコの棺とミイラ》いずれもブルックリン博物館蔵  
Photo: Brooklyn Museum

## これからの風景 世界と出会いなおす6のテーマ

7月5日[土]–9月23日[火・祝]

当館の収集の柱である風景画・風景表現のコレクションを、いま私たちを取り巻く身近な問題にも接続する6つのテーマ(記憶／鑑賞／観光／場所／環境／対話)で捉えなおします。そのうち「鑑賞」をテーマとする章では、触図(触って分かる図や絵)や音声ガイドなどを手がかりに、視覚以外の感

覚を通して風景画を鑑賞する方法を提案します。風景画は、時代や立場を越えた多様な他者のまなざしを通して、世界と出会いなおすきっかけを、これからも与えてくれるでしょう。美術館を出たら、夏がもっとあざやかになるーそんな風景との出会いが待っています。



左:上田耕夫《富士山中図巻》(部分) 個人蔵  
右:クロード・モネ《ルーアンのセーヌ川》当館蔵

## 金曜ロードショーとジブリ展

10月11日[土]–2026年1月4日[日]

高畑勲や宮崎駿らによるアニメーション映画の数々を世に送り出してきたスタジオジブリ。その作品が広く愛されるようになったきっかけの一つが、日本テレビの映画番組「金曜ロードショー」でした。同番組での放映は、多くの



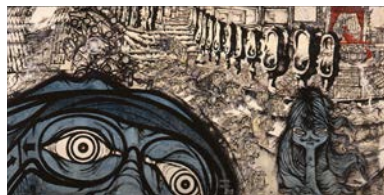
他会場の様子  
©Studio Ghibli

人々が同じ作品を同時に観るといった特別な体験を提供してきました。本展では「金曜ロードショー」の歩みと同時代の記録をたどりながら、スタジオジブリ作品の魅力に迫ります。さらに、驚きと発見に満ちた迫力のある展示空間により、作品の世界を体感することができます。

## 中村宏展 アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ

2026年1月20日[火]–3月15日[日]

浜松市出身で日本の戦後美術を代表する画家、中村宏(1932(昭和7)年~)を包括的に紹介する大規模回顧展。アートにおける表現が目まぐるしく変化し多様化する中で、中村は70年以上にわたり描くことにこだわり制作してきました。本展では、1950年代半ばの「ルポルターージュ絵画」をはじめ、1960~70年代の時代精神を映し出し広く知られたセーラー服姿の女学生や機関車をモチーフとする絵画・イラストレーションなど代表的な作品を幅広くご覧いただけます。あわせて中村の表現における映画や漫画からの影響、同時代芸術家との交流といった視点からの考察を加えるとともに、彼の1970年代以降の絵画表現についても再検証を行います。



上:中村宏《早来迎機・3》当館蔵  
下:中村宏《階段にて》宮城県美術館蔵

## 収蔵品展

### 1. 新収蔵品展

4月9日[水]–6月15日[日]

2024年度は、92点の作品が当館のコレクションに加われました。日本画4点、西洋美術1点、日本洋画2点、現代美術作品83点の計90点をご寄贈いただき、日本画1点、現代美



ケル＝グザヴィエ・ルーセル《サン＝トロペの海景》



平山郁夫《祇園祭》



竹村京《修復されたC.M.の1916年の睡蓮》  
2024年 国立西洋美術館での展示風景 撮影:上野朋宏



小山田二郎《狂女》

### 2. 本館竣工40周年記念 たてもの探訪

7月1日[火]–8月17日[日]



長い歴史の中で、自然環境や社会の仕組みに応じて、多種多様な発展を遂げてきた建築。私たちの生活に欠かせない、この複雑な立体物は、平面である絵画において、どのように表現されてきたのでしょうか。本展示では、日本の絵画に描かれた建築の造形美や意味に迫るとともに、建築を描く際に画家たちが用いた工夫にも注目します。

狩野栄信《楼閣山水図屏風》

## 収蔵品展

掲載作品は全て当館蔵  
10月11日(土)~1月4日(日)は、収蔵品展は開催いたしません  
がロダン館はご覧いただけます。

## 収蔵品展

### 3. 絵から読む物語

8月19日[火]–9月28日[日]

物語の情景を描く絵画は、まず挿絵としてテキストを視覚化して、読者の理解を助けました。やがて、挿絵は物語絵としてテキストから独立すると、絵画表現のみで登場人物の感情を表し、これから訪れる結末への想像を掻き立て、教訓や感動を伝えるため、様々な演出が施されました。本展では、日本の近世から近代に至る物語絵を展観し、心情や物語の展開を想像しながら鑑賞する絵画の魅力に迫ります。



今村紫紅《宇津の山路》(部分)

### 4. 2000年代の絵画 ~静岡ゆかりの作家による

2026年1月20日[火]–4月19日[日]



石田徹也《兵士》



持塚三樹《Dusk approaches》



大庭大介《RING》  
写真:表恒匡(Nobutada Omote)  
協力:SCAI THE BATHHOUSE

静岡県の各地域の皆様へ、当館コレクションをご紹介します。今年度は下記の通り開催します。

富士市文化会館ロゼシアター

会期 2025年9月19日[金]–9月28日[日]

## 企画展

## 移動美術館